

セマンティック・オントロジーによる WebGIS 型の自律型生態系サービス

解析ツールの開発：ARIES (ARTificial Intelligence for Ecosystem Services)

日時：2019 年 12 月 16 日(月) PM18:00~20:00

場所：東京農業大学世田谷キャンパス 1 号館 2 階 213 教室

住所 東京都世田谷区桜丘 1-1-1

最寄駅 小田急線経堂駅(徒歩 15 分)、田園都市線用賀駅(バス 10 分)

主催：名古屋大学未来材料・システム研究所林研究室

東京農業大学地域環境科学部生産環境工学科水利施設工学研究室

K. LAB Japan

後援：日本環境共生学会、環境アセスメント学会若手の会

入場無料

本講演会は名古屋大学未来材料・システム研究所の萌芽的共創研究の資金を活用しています。

概要

近年は、日常生活においても GPS の活用により、地図情報に接する機会が多い。一方で、単に自然景観やハイキングを楽しむのみならず、知らずに自然の恩恵を受けていることは多い。自然がもたらす福利の情報は、地図上で捉えることは難しく、専門家の研究や研究書等に留まることが多かった。

本セミナーでは、web インターフェースを活用し、だれでも容易に地域の生態系サービス分布の推計が可能な ARIES プロジェクトで開発中の k. Explorer を紹介する。特徴は、セマンティックとオントロジーを活用することで、コンピューターが自律的に判断するため、非専門家でも簡単な web ブラウザーの操作で生態系サービスの推計結果を得ることが可能である点である。また、評価対象エリアは、世界どの地域でも可能となっており、適用範囲が広いことも大きな特徴である。

2019 年 10 月にドイツで開催された ESP10 国際会議にて、本 k. Explorer の一般への無償公開が始まり、日本で紹介することとなった。

注1:モデルを構築する研究者の方には、modeler と呼ぶモデラー専用のインターフェースがあり、自分のモデルを本システムに組み込むことも可能となっている。

注2:ARIES プロジェクトはスペインの BC3 センターの Ferdinando Villa 教授らの研究チームが中心となり、今回の講演者らとの共同研究として進めているものであり、世界的に著名なプロジェクトである。

スケジュール

講演：Ferdinando Villa 教授 (BC3、スペイン)

ビデオ会議：デモンストレーション

話題提供 1：林希一郎(名古屋大学 教授)

タイトル「K. Lab を活用した日本での事例研究」

話題提供 2：岡澤宏(東京農業大学 教授)

タイトル「水文解析分野における K. Lab の活用」



アクセス

東京農業大学

〒156-8502 東京都世田谷区桜丘 1-1-1

世田谷キャンパス



申込先

2019年12月12日(木)までにお申し込みください。

名古屋大学未来材料・システム研究所 川口宛

n.kawaguchi (at) imass.nagoya-u.ac.jp

